

組合長就任の ごあいさつ

秋田なまはげ農業協同組合
代表理事組合長

京極 芳郎



この度、「JA新あきた」と「JA秋田みなみ」の2つのJAが合併し、平成30年4月1日から「秋田なまはげ農業協同組合」（愛称「JA秋田なまはげ」）が発足いたしました。

これも偏に組合員、地域利用者の皆様のご理解とご協力、ご期待の賜物と御礼申し上げます。

JA秋田なまはげ発足については、合併推進協議会設立後、合併推進協議会委員会や専門部会等の協議を重ねてまいりました。平成29年10月11日に「合併調印式」、平成29年11月15日には「臨時総代会」を開催し、満場の決議でご承認をいただきました。その間多くの方々にご苦勞をいただきここに新たな門出の日を迎えることが出来たことに、改めて感謝申し上げます。

合併を契機に各々JAのブランド力を有機的に結合しながら、「JA秋田なまはげ」のブランドを確立、スケールメリットを最大限発揮し、販売力の強化に努

め、地域農業の振興と農業所得の向上に取り組んでまいります。

JAを取り巻く環境は、政府の規制改革推進会議からの農業・JA改革の提言等、厳しい局面を迎えておりますが、我々は組合員の皆様と力を合わせ活力のある農業・地域にしていかなければなりません。

30年産米以降の生産調整制度見直し後も行政、JA、各米集荷業者で協議を行い、30年以降も「主食用米の生産目安」を農家へ提示させていただきました。米価を安定させ、生産者の所得増大を図っております。

今、JAは組合員や地域利用者から選ばれるJAでなければなりません。新JAでは、自ら改革を行い、組合員の負託に応えるよう経営をしております。

今後とも、「JA秋田なまはげ」に対しより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげ、就任のごあいさつといたします。